

平成29年度「キャリア形成のための院生自主企画」実施報告書

提出:平成 29年 12月 16日

① 企画の名称

基盤研究は商品開発でどのように役立つのか？－洗浄のプロフェッショナルに学ぶ－

② 企画代表者の氏名・所属(学年)・連絡先

氏名	矢田 詩歩
所属・学年	大学院共生自然科学専攻・博士後期課程2年
連絡先	

③ 企画者の氏名・所属(学年)(代表者以外の協力者)

氏名	所属(学年)
河合 里紗	大学院共生自然科学専攻(博士後期課程1年)
脇坂 都	大学院化学専攻(博士前期課程2年)

④ 支援教員

氏名	所属
吉村 倫一	研究院自然科学系化学領域

⑤ 企画における講師(講演者)

氏名	所属(連絡先)
坂井 隆也	花王株式会社 基盤研究セクター マテリアルサイエンス研究所

⑥ 企画実施日・会場及び参加者

日時	2017年12月15日(金)15:00～16:30
会場	G203教室
参加人数	42名(講演者・企画者・協力者含む)
参加者の内訳	本学教職員 1名 / 本学大学院生 16名 他大学教職員 0名 企業・団体職員 0名 / その他 本学学部生 25名

⑦ 企画についての概要報告

企画の形式	講義
企画の概要	
<p>申請者は、コロイド・界面化学の研究室に所属しており、界面活性剤の合成から物性評価、放射光施設を用いた構造解析まで幅広く研究に取り組んでいる。将来はこれらの経験を活かし、基礎研究と企業の応用研究(商品開発)を繋ぐ架け橋になりたいと考えている。現在申請者は、さまざまな測定に取り組み、コロイド・界面化学分野で必要な基礎技術の習得に取り組んでいるものの、それが実際の応用研究(商品開発)にどのように繋がって活かされるのか、明確に理解できていないのが現状である。</p> <p>今回のセミナーでは、花王株式会社の坂井 隆也博士を迎えて、基盤研究が商品開発につながった身近な例をお話していただき、本セミナーを通して、企業における基礎研究の重要性や、基盤研究と応用研究の繋がりについて理解を深めたい。セミナー当日は、プロジェクターを用いた講義を行っていただき、他の学生への広報も行うことで、多くの方に「基礎研究が産業分野での応用研究に繋がる身近な例」を知っていただき、自分たちの研究にやりがいを感じてもらいたいし、将来を考える良いきっかけになればと考えている。</p>	

⑧ 企画の成果報告

企画の成果(企画の目的の達成度に関する自己評価・その他企画の実施により得られた知見など)
<p>本企画を実施するにあたり、宣伝活動に力をいれた。インパクトのあるポスターを作成し、実際に学生に向けて口頭で企画内容や目的を説明した。その成果もあって、当日は42名と予想を上回る大盛況で講演会を終えることができた。アンケートを見ると、今回の参加者は学部3年生と博士前期課程1年生が多く、研究室配属や就職活動を控える学生が本企画に興味を示してくれたことがわかった。また、企画者による直接の宣伝活動をきっかけに本講演会に参加して下さった方が55%を占め、宣伝活動の成果が得られた。わたしたちが日々の生活の中で使用している製品に関するお話が聞けるということで興味を示してくれた方や、自分の将来について悩んでいる学生の参加が目立った。感想をみると、大学と企業の研究の違いや基礎研究と商品開発の繋がりについてお話を聞いたことに満足されている方が多く、本セミナーの目的である「自分たちの研究にやりがいを感じたり、将来を考える良いきっかけ」になったと思う。講演会実施にあたり、講師への講演依頼から会場準備、宣伝、当日の司会進行など、すべてが初めての経験だったが、多くの方にサポートしていただきなんとか本企画を実施することができた。支援して下さったみなさんに感謝したい。</p>

⑨ 添付書類(■は必須、その他添付したものについては、□にチェック)

- ポスター、チラシなど事前の広報資料
- 参加者名簿(芳名録のコピーなど。参加者の氏名と所属(ないし居住地の市町村)の一覧でよい。)
- セミナー当日配布資料(ある場合は必須)
- セミナー講演者の映示資料のハードコピー(ある場合は必須)
- セミナーの録音・録画記録のメディア
- 参加者に対して行った意見徴収・アンケートなどの配布資料
- 参加者に対して行ったアンケート調査などの集計結果
- 新聞やミニコミ誌などに広報を行った場合その記事のコピー
- その他(講演会の写真)